

整数の性質 7 分数と小数

288

(1) $\frac{5}{8} = 0.625$ (2) $\frac{17}{6} = 2.83333\cdots = 2.8\dot{3}$ (3) $\frac{43}{25} = 1.72$

(4) $\frac{7}{16} = 0.4375$ (5) $\frac{35}{44} = 0.79545454\cdots = 0.795\dot{4}$ (6) $\frac{59}{27} = 2.185185\cdots = 2.\dot{1}8\dot{5}$

289

(1)

$$\frac{24}{37} = 0.648648\cdots = 0.\dot{6}4\dot{8}$$
 より,

 $k=1, 2, 3, \dots$ とすると,小数第 1, 4, 7, \dots 位 すなわち小数第 $3k-2$ 位の数字は 6小数第 2, 5, 8, \dots 位 すなわち小数第 $3k-1$ 位の数字は 4小数第 3, 6, 9, \dots 位 すなわち小数第 $3k$ 位の数字は 8小数第 50 位は $3 \cdot 17 - 1$ より, 小数第 $3k-1$ 位に属するから, その数字は 4

(2)

$$\frac{11}{101} = 0.10891089\cdots = 0.\dot{1}08\dot{9}$$
 より,

 $k=1, 2, 3, \dots$ とすると,小数第 1, 5, 9, \dots すなわち小数第 $4k-3$ 位の数字は 1小数第 2, 6, 10, \dots すなわち小数第 $4k-2$ 位の数字は 0小数第 3, 7, 11, \dots すなわち小数第 $4k-1$ 位の数字は 8小数第 4, 8, 12, \dots すなわち小数第 $4k$ 位の数字は 9小数第 75 位は $4 \cdot 19 - 1$ より, 小数第 $4k-1$ 位に属するから, その数字は 8

(3)

$$\frac{9}{41} = 0.2195121951\cdots = 0.\dot{2}195\dot{1}$$
 より,

 $k=1, 2, 3, \dots$ とすると,小数第 1, 6, 11, \dots 位 すなわち小数第 $5k-4$ 位の数字は 2小数第 2, 7, 12, \dots 位 すなわち小数第 $5k-3$ 位の数字は 1小数第 3, 8, 13, \dots 位 すなわち小数第 $5k-2$ 位の数字は 9小数第 4, 9, 14, \dots 位 すなわち小数第 $5k-1$ 位の数字は 5小数第 5, 10, 15, \dots 位 すなわち小数第 $5k$ 位の数字は 1小数第 100 位は $5 \cdot 20$ より, 小数第 $5k$ 位に属するから, その数字は 1

(4)

$$\frac{7}{13} = 0.538461538461\cdots = 0.\dot{5}3846\dot{1} \text{ より,}$$

$k=1, 2, 3, \dots$ とすると,

小数第 1, 7, 13, \dots すなわち小数第 $6k-5$ 位の数字は 5

小数第 2, 8, 14, \dots すなわち小数第 $6k-4$ 位の数字は 3

小数第 3, 9, 15, \dots すなわち小数第 $6k-3$ 位の数字は 8

小数第 4, 10, 16, \dots すなわち小数第 $6k-2$ 位の数字は 4

小数第 5, 11, 17, \dots すなわち小数第 $6k-1$ 位の数字は 6

小数第 6, 12, 18, \dots すなわち小数第 $6k$ 位の数字は 1

小数第 200 位は $6 \cdot 34 - 4$ より, 小数第 $6k-4$ 位に属するから, その数字は 3

290

整数でない既約分数 $\frac{m}{n}$ について,

分母 n の素因数が 2 または 5 だけからなる $\Leftrightarrow \frac{m}{n}$ は有限小数で表される

既約分数の分母の素因数が 2 または 5 だけからなるものを選べばよいから,

$$\frac{5}{14} = \frac{5}{2 \cdot 7}, \frac{49}{32} = \frac{7^2}{2^5}, \frac{13}{15} = \frac{13}{3 \cdot 5}, \frac{1}{72} = \frac{1}{2^3 \cdot 3^2}, \frac{77}{500} = \frac{7 \cdot 11}{2^2 \cdot 5^3}, \frac{23}{90} = \frac{23}{2 \cdot 3^2 \cdot 5}, \frac{123}{625} = \frac{3 \cdot 41}{5^4}$$

$$\text{より, } \frac{49}{32}, \frac{77}{500}, \frac{123}{625}$$

291

(1)

解法 1

$$\frac{1}{7} = 1 \cdot \frac{1}{7^1} = 0.1_{(7)}$$

解法 2

$$\frac{1}{7} = \frac{1 \cdot 7^0}{1 \cdot 7^1 + 0 \cdot 7^0} = \frac{1_{(7)}}{10_{(7)}}$$

$$\begin{array}{r} 0. 1 \\ 10 \overline{) 10} \\ \underline{10} \\ 0 \end{array}$$

$$\text{より, } \frac{1}{7} = 0.1_{(7)}$$

(2)

解法 1

$$\begin{aligned}
\frac{1}{7} &= \frac{1}{2^3} \cdot \frac{8}{7} \\
&= \frac{1}{2^3} \left(1 + \frac{1}{7} \right) \\
&= \frac{1}{2^3} + \frac{1}{2^3} \cdot \frac{1}{7} \\
&= \frac{1}{2^3} + \frac{1}{2^3} \cdot \frac{1}{2^3} \left(1 + \frac{1}{7} \right) \\
&= \frac{1}{2^3} + \frac{1}{2^6} + \frac{1}{2^6} \cdot \frac{1}{7} \\
&= \frac{1}{2^3} + \frac{1}{2^6} + \frac{1}{2^6} \cdot \frac{1}{2^3} \left(1 + \frac{1}{7} \right) \\
&= \frac{1}{2^3} + \frac{1}{2^6} + \frac{1}{2^9} + \frac{1}{2^9} \cdot \frac{1}{7} \\
&\quad \vdots \\
&= 1 \cdot \frac{1}{2^3} + 1 \cdot \frac{1}{2^6} + 1 \cdot \frac{1}{2^9} + \dots \\
&= 0.001 + 0.000001 + 0.000000001 + \dots \\
&= 0.001001001\dots \\
&= 0.\dot{0}0\dot{1}_{(2)}
\end{aligned}$$

解法 2

$$\begin{aligned}
\frac{1}{7} &= \frac{1 \cdot 2^0}{1 \cdot 2^2 + 1 \cdot 2^1 + 1 \cdot 2^0} \\
&= \frac{1_{(2)}}{111_{(2)}}
\end{aligned}$$

$$\begin{array}{r}
 \\
 \\
 \\
 \\
 \\

\end{array}$$

$$\text{よ} \ddot{\text{り}}, \quad \frac{1}{7} = 0.\dot{0}0\dot{1}_{(2)}$$

(3)

解法 1

$$\begin{aligned}
 \frac{5}{8} &= \frac{2^2 + 1}{2^3} \\
 &= \frac{2^2}{2^3} + \frac{1}{2^3} \\
 &= 1 \cdot \frac{1}{2^1} + 1 \cdot \frac{1}{2^3} \\
 &= 0.1_{(2)} + 0.001_{(2)} \\
 &= 0.101_{(2)}
 \end{aligned}$$

解法 2

$$\begin{aligned}
 \frac{5}{8} &= \frac{1 \cdot 2^2 + 0 \cdot 2^1 + 1 \cdot 2^0}{1 \cdot 2^3} \\
 &= \frac{101_{(2)}}{1000_{(2)}}
 \end{aligned}$$

$$\begin{array}{r}
 1 \ 0 \ 0 \ 0 \) \ 0. \ 1 \ 0 \ 1 \ 0 \\
 \underline{1 \ 0 \ 0 \ 0} \\
 1 \ 0 \ 0 \ 0 \\
 \underline{1 \ 0 \ 0 \ 0} \\
 0
 \end{array}$$

$$\text{より, } \frac{5}{8} = 0.101_{(2)}$$

(4)

解法 1

$$\begin{aligned}
 \frac{13}{100} &= \frac{13}{5^2 \cdot 4} \\
 &= \frac{1}{5^2} \cdot \frac{13}{4} \\
 &= \frac{1}{5^2} \left(3 + \frac{1}{4} \right) \\
 &= \frac{3}{5^2} + \frac{1}{5^2} \cdot \frac{1}{4} \\
 &= \frac{3}{5^2} + \frac{1}{5^3} \cdot \frac{5}{4} \\
 &= \frac{3}{5^2} + \frac{1}{5^3} \left(1 + \frac{1}{4} \right) \\
 &= \frac{3}{5^2} + \frac{1}{5^3} + \frac{1}{5^4} \left(1 + \frac{1}{4} \right)
 \end{aligned}$$

294

$$n^2 - 14n + 40 = (n-4)(n-10)$$

素数は正だから、 $n^2 - 14n + 40$ が素数のとき、

$n-10 < n-4 < 0$ の場合と $0 < n-10 < n-4$ の場合がある。

$n-10 < n-4 < 0$ の場合

$$n-4 = -1 \text{ より, } n=3$$

$$\text{よって, } n^2 - 14n + 40 = (n-4)(n-10) = 7$$

7 は素数だから条件を満たす。

$0 < n-10 < n-4$ の場合

$$n-10 = 1 \text{ より, } n=11$$

$$\text{よって, } n^2 - 14n + 40 = (n-4)(n-10) = 7$$

7 は素数だから条件を満たす。

よって、 $n^2 - 14n + 40$ が素数となるような n は $n=3, 11$

295

(1)

$$a+b < a+c < a+d, b+c < b+d < c+d, a+c < b+c \text{ より,}$$

$$a+b < a+c < (a+d, b+c) < b+d < c+d$$

$$\text{よって, } a+b=40, b+d=94$$

(2)

$$a+b < a+c < (a+d, b+c) < b+d < c+d \text{ より,}$$

$$a+b=40 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$a+c=60 \quad \dots \textcircled{2}$$

$$b+d=94 \quad \dots \textcircled{3}$$

$$c+d=114 \quad \dots \textcircled{4}$$

$(a+d, b+c) = (66, 88)$ のとき

$$\textcircled{1} - \textcircled{3} \text{ より, } a-d = -54 \quad \dots \textcircled{5}$$

$$\text{これと } a+d=66 \text{ より, } a=6$$

6 は素数でないから不適

$(a+d, b+c) = (88, 66)$ のとき

$$\textcircled{5} \text{ および } a+d=88 \text{ より, } a=17$$

$$\text{これを } \textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ に代入し, } b, c \text{ を求めると, } b=23, c=43$$

これは $b+c=66$ を満たす。

$$c=43 \text{ を } \textcircled{4} \text{ に代入し, } d \text{ を求めると, } d=71$$

a, b, c, d は素数かつ $a < b < c < d$ だから、条件を満たす。

以上より、 $(a, b, c, d) = (17, 23, 43, 71)$

296

(1)

$$\begin{aligned}
 n^4 + 4 &= (n^2 + 2)^2 - 4n^2 \\
 &= (n^2 + 2)^2 - (2n)^2 \\
 &= \{(n^2 + 2) + 2n\} \{(n^2 + 2) - 2n\} \\
 &= (n^2 + 2n + 2)(n^2 - 2n + 2)
 \end{aligned}$$

(2)

解法 1

$n^4 + 4 = (n^2 + 2n + 2)(n^2 - 2n + 2)$ において、
 n は正の数だから、 $0 < n^2 + 2n + 2$ 、 $n^2 - 2n + 2 < n^2 + 2n + 2$
 これと $n^4 + 4 > 0$ より、 $0 < n^2 - 2n + 2 < n^2 + 2n + 2$
 したがって、 $n^4 + 4$ が素数であると仮定すると、
 $n^2 - 2n + 2 = 1$ すなわち $(n-1)^2 = 0$ より、 $n = 1$
 ところが n は 2 以上の自然数である。
 よって、不適
 ゆえに、 $n^4 + 4$ は素数ではない。

解法 2

$n^4 + 4 = (n^2 + 2n + 2)(n^2 - 2n + 2)$ において、 n は 2 以上の自然数だから、
 $n^2 + 2n + 2 = (n+1)^2 + 1 \geq (2+1)^2 + 1 = 10$
 $n^2 - 2n + 2 = (n-1)^2 + 1 \geq (2-1)^2 + 1 = 2$
 よって、 $n^2 - 2n + 2$ 、 $n^2 + 2n + 2$ のいずれも 1 ではない。
 すなわち $(n^2 + 2n + 2)(n^2 - 2n + 2)$ は合成数である。
 ゆえに、 $n^4 + 4$ は素数ではない。

297

n が素数ならば、 $n \geq 2$ より、 n は自然数 k を用いて $3k-1$ 、 $3k$ 、 $3k+1$ のいずれかで表される。

$n = 3k-1$ のとき

$$n + 4 = 3k + 3 = 3(k+1)$$

これと $k+1 \geq 2$ より、 $n+4$ は合成数すなわち素数ではない。

$n = 3k$ のとき

$$n \text{ は素数だから、 } n = 3$$

このとき $n+2=5$ 、 $n+4=7$ より、 n 、 $n+2$ 、 $n+4$ がすべて素数となる。

$n = 3k+1$ のとき

$$n + 2 = 3k + 3 = 3(k+1)$$

これと $k+1 \geq 2$ より、 $n+2$ は合成数すなわち素数ではない。

以上より、 n 、 $n+2$ 、 $n+4$ がすべて素数ならば $n=3$